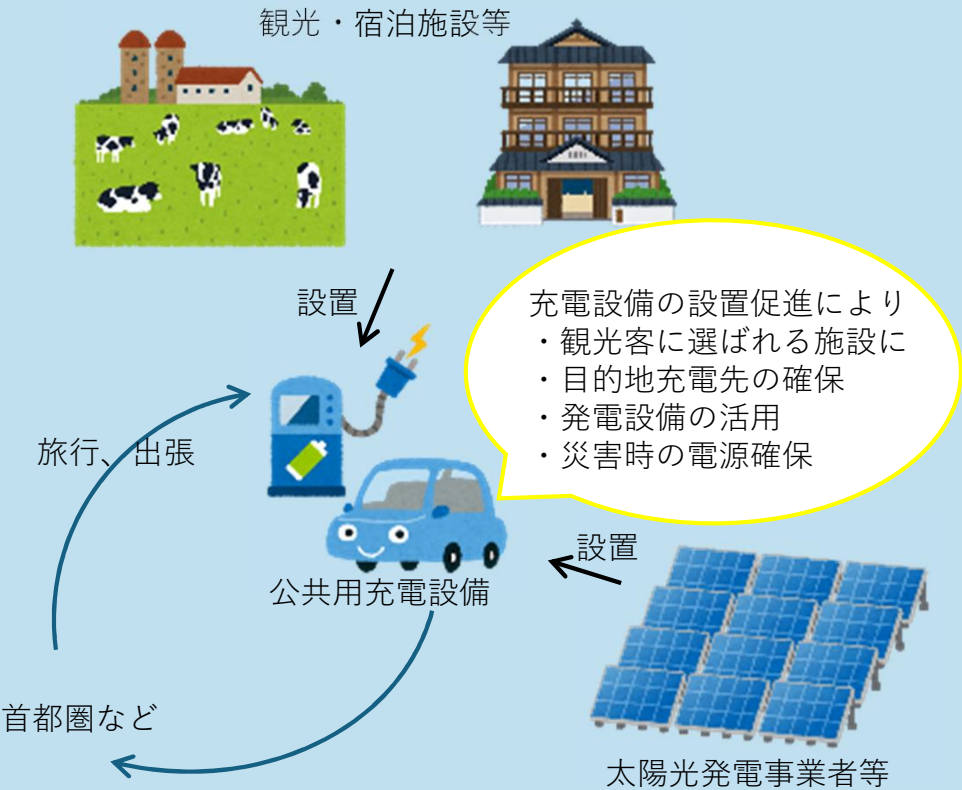


担 当 課：環境生活部温暖化対策推進課
問い合わせ先：043-223-4561

概要

電気自動車等に必要となる公共用充電設備の設置を促進するため、充電しながら一定の滞在時間の確保が期待できる観光・宿泊施設等での設置に対して助成するほか、太陽光発電設備を保有する事業者等が、当該設備から直接充電ができる機器を設置する場合に助成します。

- 1 観光・宿泊施設等への充電設備の設置【新規】 16,500千円
観光・宿泊施設等を運営する事業者等が公共用充電設備の設置に要する経費の一部に対して助成します。
[対 象 者]観光・宿泊施設等への充電設備を設置しようとする事業者
[対象経費]電気自動車用充電設備の購入費
[補 助 率]太陽光発電設備がある場合 1/5 (上限100万円)
太陽光発電設備がない場合1/10 (上限 50万円)
- 2 太陽光発電設備を供給源とする充電設備の設置【新規】 5,500千円
太陽光発電設備を保有する事業者等が公共用充電設備及び蓄電池の設置に要する経費の一部に対して助成します。
[対 象 者]50kW以上の太陽光発電設備を保有する事業者等
[対象経費]電気自動車用充電設備及び蓄電池の購入費
[補 助 率] 1/10 (上限50万円)



概要

担 当 課：環境生活部温暖化対策推進課
問い合わせ先：043-223-4561

カーボンニュートラルの実現に向けて、次世代型太陽電池として期待され、現在、日本発の技術として開発・実証が進められている「ペロブスカイト太陽電池」について、その主原料となるヨウ素の世界有数の生産量を誇る千葉県において、モデル事業として県有施設への率先導入を図ります。

1 次世代型太陽電池率先導入モデル事業【新規】 50,000千円

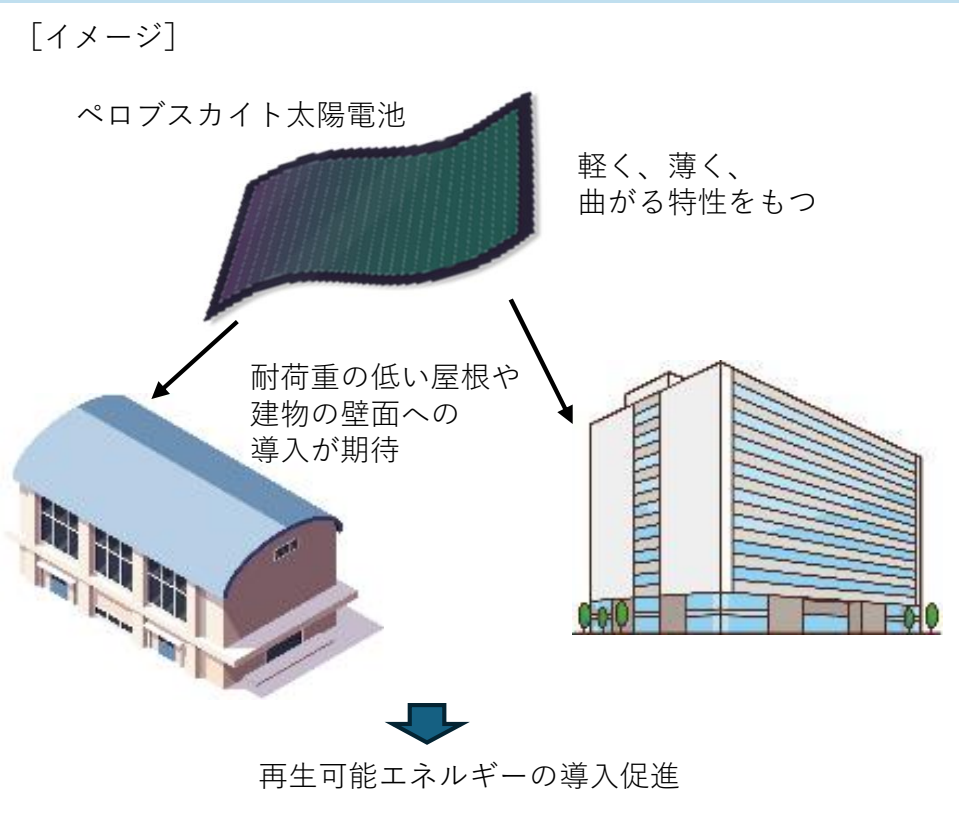
「ペロブスカイト太陽電池」を普及促進するため、県有施設への率先導入を図ります。

[設置候補]設置可能な県有施設

【参考】ペロブスカイト太陽電池について

次世代型太陽電池として軽くて薄く折り曲げられる特性をもち、従来のシリコン型の太陽光パネルでは導入が難しかった耐荷重の低い屋根や建物の壁面への導入が期待され、現在、国内企業で開発や実証が進められています。

主原料であるヨウ素は日本が世界第2位の産出量であり、本県は国内生産量の約8割、世界シェアの1/5程度を占めています。



ちばアクアラインマラソン開催事業

6月補正予算額 57,500千円
(R6当初 142,900千円)
(債務負担行為 128,000千円)

担 当 課：環境生活部 スポーツ・文化局
生涯スポーツ振興課
問い合わせ先：043-223-2434

概要

スポーツを通じた健康増進や体力向上の促進と、千葉県が有する様々な魅力を発信するため、令和8年度の「ちばアクアラインマラソン」開催に向けて、運営方法の検討やPR活動を実施します。
また、開催に係る準備に2か年を要することから、債務負担行為を設定します。

【令和7年度 事業内容】

- 運営方法の検討、実施計画の作成
- PRグッズの作成、PR活動の展開
- 募集要項の作成
- 大会公式HP・SNS等による大会情報の発信 等

[スタート地点]



[大会当日のアクアライン]



[東京湾アクアラインを走るランナー]



[フィニッシュの様子]

担 当 課：環境生活部スポーツ・文化局
生涯スポーツ振興課
問い合わせ先：043-223-2434

概要

パラスポーツの更なる普及や障害のある人がスポーツに親しめる環境を整備するため、県内大学や学生のアイディア等を活かしたパラスポーツ教室などを新たに実施します。

○県内大学生企画提案型パラスポーツ促進事業 2,030千円

[提案主体]

県内にキャンパスが所在する大学のゼミナール又は学生グループ

[提案内容]

- ・ 単発的、一過性の取組ではなく、年3回以上のパラスポーツ教室等に取り組むものであること。
- ・ 学生と地域住民との活発な交流や地元自治体との連携が期待される活動であること。
- ・ 障害のある方が身近な地域で広くパラスポーツに親しめる環境の整備につながる活動であること。

[実施団体数]

2団体（予定）



(車いすバスケットボール)



(フライングディスク)